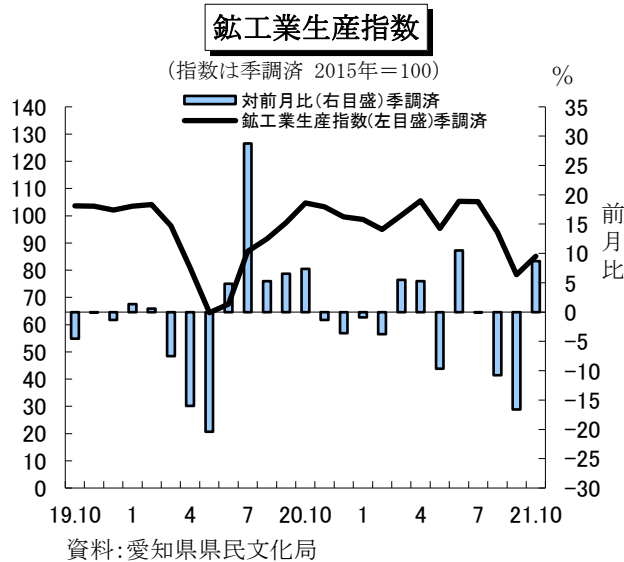


あいち経済の動き（月報）

（2021年10月分）

生産：鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月比8.7%の上昇



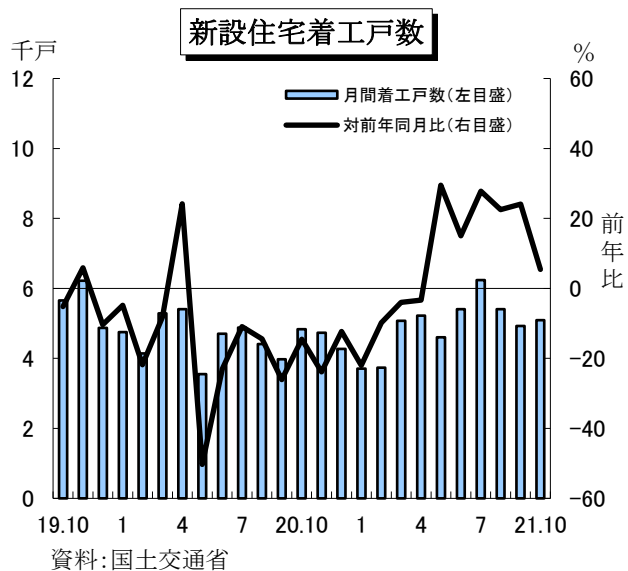
8月	9月	10月
↘	↘	→

主な指標の動き

鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比で、輸送機械が24.0%上昇するなど、全体で8.7%の上昇となりました。

また、鉱工業生産指数(原指数)は、前年比で、輸送機械が36.7%低下するなど、全体では20.4%の低下となりました。

投資（住宅建設）：新設住宅の月間着工戸数は、前年比5.4%の増加



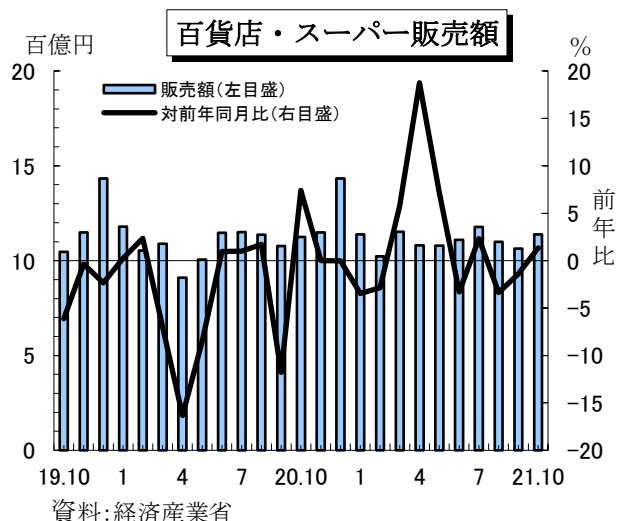
8月	9月	10月
→	↗	→

主な指標の動き

新設住宅の月間着工戸数は、前年比で5.4%増となり、6か月連続で増加となりました。

内訳は、貸家が8.6%、給与住宅が89.3%の減少、持家が12.7%、分譲住宅が18.9%の増加となりました。

個人消費：百貨店・スーパー販売額は、前年比1.3%の増加



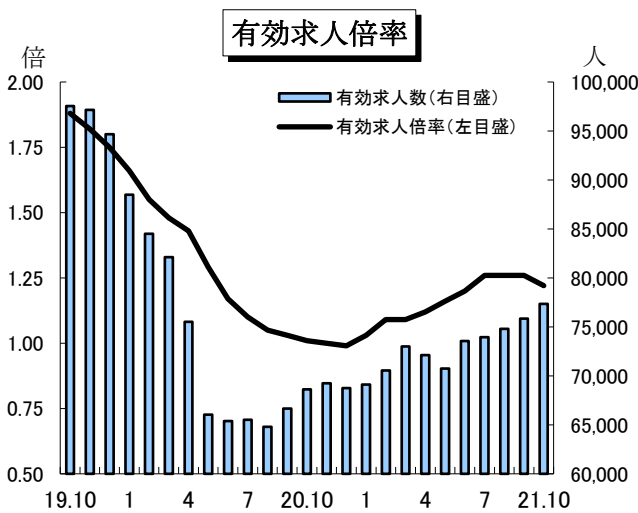
8月	9月	10月
↘	→	→

主な指標の動き

百貨店・スーパー販売額は、前年比で1.3%増となり、3か月ぶりに増加となりました。

百貨店販売額は、衣料品が5.3%増となるなど、全体では3.2%増加しました。また、スーパー販売額は、飲食料品が1.5%増となるなど、全体では0.7%の増加となりました。

雇用：有効求人倍率は、1.22倍



資料: 愛知労働局

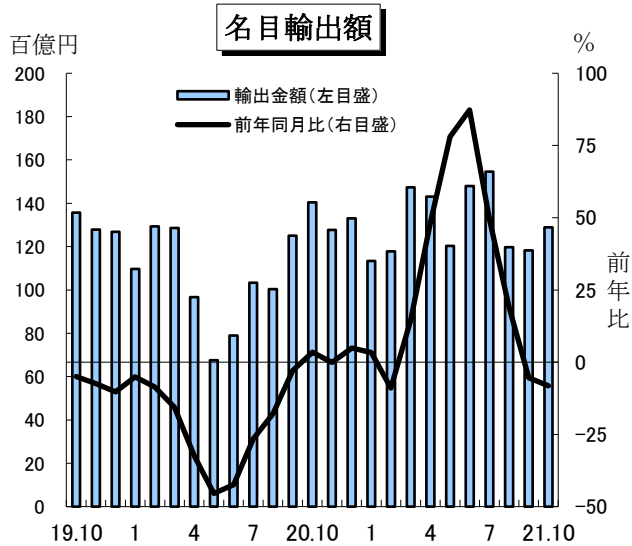
8月	9月	10月
↗	↗	→

主な指標の動き

有効求人倍率は、1.22倍と10か月ぶりに低下しました。

有効求人人数は、前年比で、12.7%増となり、6か月連続で増加となりました。

貿易（輸出）：名目輸出額は、前年比8.2%の減少



資料: 名古屋税関

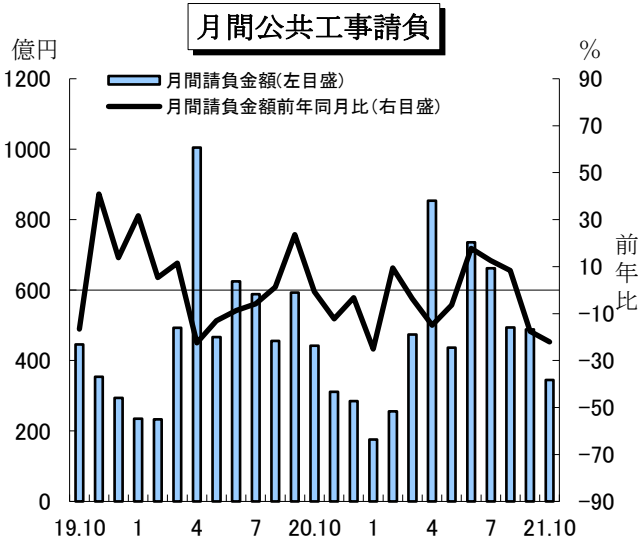
8月	9月	10月
→	↘	↘

主な指標の動き

名目輸出額は、前年比で8.2%減となり、2か月連続で減少となりました。

地域別にみると、アジア向けが6.2%、EU向けが4.3%増加したものの、北米向けは19.7%の減少となりました。

投資（公共工事）：公共工事の月間請負金額は、前年比22.0%の減少



資料: 東日本建設業保証(株)

8月	9月	10月
↗	↘	↘

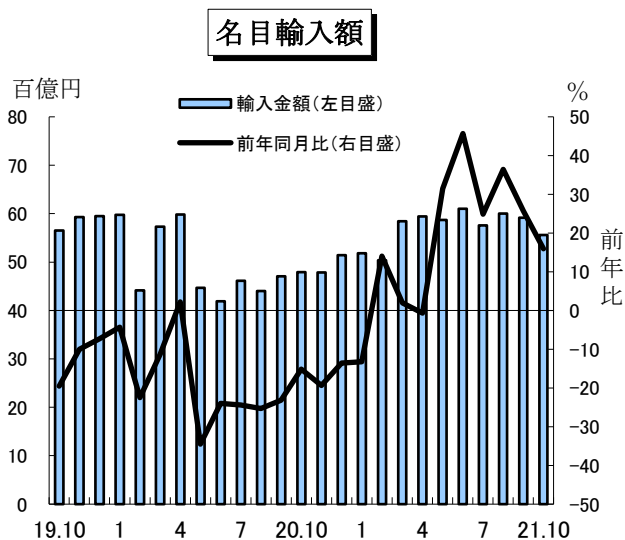
主な指標の動き

公共工事の月間請負金額は、前年比で22.0%減となり、2か月連続で減少となりました。

月間請負件数は、前年比で12.6%減となり、2か月連続で減少となりました。

※上記の矢印の向きは月間請負金額を示すもの。

貿易（輸入）：名目輸入額は、前年比15.9%の増加



資料:名古屋税関

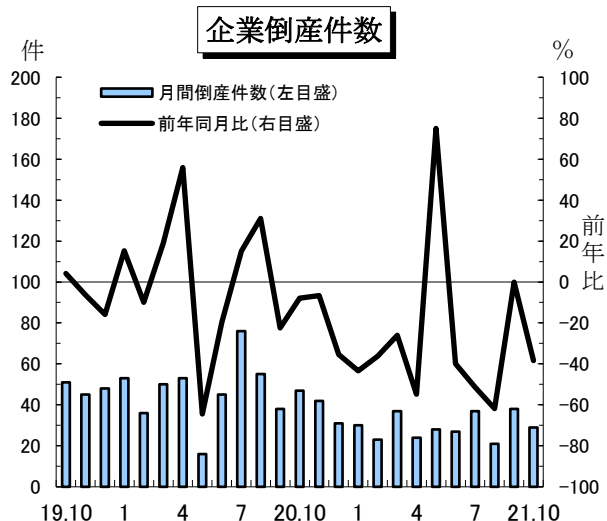
8月	9月	10月
↗	→	→

主な指標の動き

名目輸入額は、前年比で15.9%増となり、6か月連続で増加となりました。

地域別にみると、北米からは4.9%減少したものの、アジアからは18.9%、EUからは2.0%といずれも増加となりました。

企業（倒産）：月間倒産件数は、前年比38.3%の減少



資料:(株)東京商工リサーチ名古屋支社

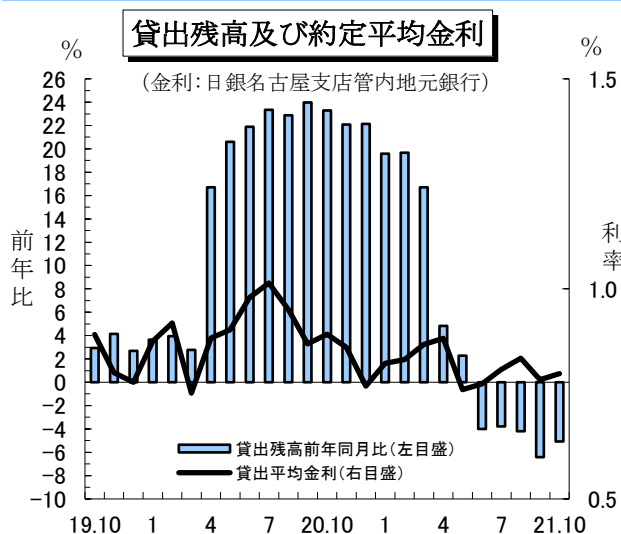
8月	9月	10月
↗	→	→

主な指標の動き

企業の月間倒産件数は29件と、前年比で38.3%減となり、2か月ぶりに減少となりました。

業種別にみると、倒産件数の多い順にサービス業他が8件、建設業、卸売業が各6件、小売業が4件、製造業が3件、農・林・漁・鉱業、不動産業が各1件となっています。

金融：貸出残高は、前年比5.1%の減少



資料:日本銀行名古屋支店

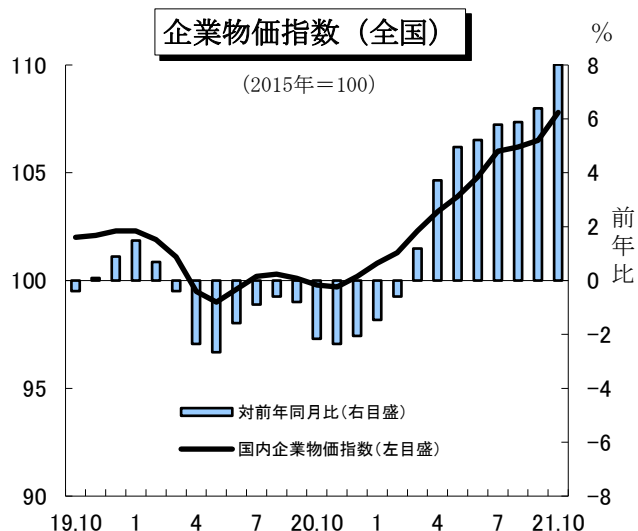
8月	9月	10月
↘	↘	↘

主な指標の動き

貸出残高は、前年比で5.1%減となり、5か月連続で減少となりました。

※上記の矢印の向きは貸出残高を示すもの。

物価（企業）：企業物価指数は、前年比8.0%の上昇



資料：日本銀行

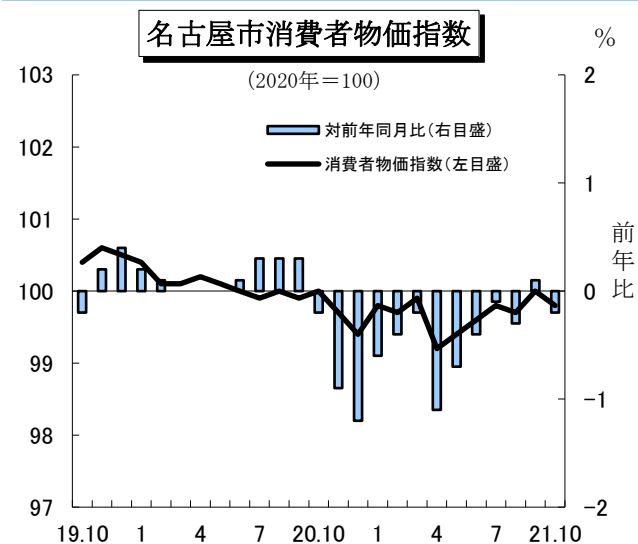
8月	9月	10月
↗	↗	↗

主な指標の動き

国内品の企業物価指数は、前年比で8.0%上昇し、8か月連続の上昇となりました。

前月比では1.2%上昇し、11か月連続で上昇となりました。

物価（消費者）：名古屋市消費者物価指数は、前年比0.2%低下



資料：総務省統計局

8月	9月	10月
→	→	→

主な指標の動き

名古屋市消費者物価指数(総合)は、99.8となり、前年比で0.2%低下し、2か月ぶりに低下となりました。

前月比では、生鮮食品などが低下したことにより0.2%低下し、2か月ぶりに低下となりました。

(注) 矢印は、3か月前比を中心に変化の方向を表すため、毎月の変動とは異なる場合があります。

経済指標の矢印判定の推移

	21年 5月	6月	7月	8月	9月	10月
生産	→	↗	→	↘	↘	→
投資(住宅建設)	↗	↗	↗	→	↗	→
個人消費	↗	↘	→	↘	→	→
雇用	↗	↗	↗	↗	↗	→
貿易(輸出)	↗	↗	↗	→	↘	↘
投資(公共工事)	↘	↗	↗	↗	↘	↘
貿易(輸入)	↗	↗	↗	↗	→	→
企業(倒産)	↘	↗	→	↗	→	→
金融	→	↘	↘	↘	↘	↘
企業物価	↗	↗	↗	↗	↗	↗
消費者物価	↘	↘	→	→	→	→
↗	6	8	6	5	3	1
→	2	0	2	2	2	4
↘	3	3	1	3	4	3
⇨	0	0	2	1	2	3

(注) 水平矢印の黒色・白色は直近の上向き・下向き矢印に依存する。

あいち経済の動き・矢印判定基準等

		使用データ	矢印判定基準
生産		愛知県県民文化局「愛知県鉱工業指数」／生産指数 (鉱工業)	↑：前月比3%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：前月比3%以上マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外
投資	住宅建設	国土交通省「住宅着工統計」／新設住宅着工件数	↑：月間着工戸数の対前年同月比3%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：月間着工戸数の対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
	公共工事	東日本建設業保証㈱「公共工事前払金保証統計」／月間請負金額	↑：対前年同月比3%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
個人消費		経済産業省「商業動向統計」のうち「業態別、都道府県別、商品別販売額等」 ／大型小売店販売額合計（百貨店＋スーパー）	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
雇用		愛知労働局「最近の雇用情勢」／有効求人倍率	↑：有効求人倍率1超かつ対3か月前比プラスの場合又は有効求人倍率対前月0.1ポイント以上プラスで、かつ対3か月前比0.2ポイント以上プラスの場合 ↓：有効求人倍率1未滿かつ対3か月前比マイナスの場合又は有効求人倍率対前月0.1ポイント以上マイナスで、かつ対3か月前比0.2ポイント以上マイナスの場合 →：上記以外
企業	倒産	(株)東京商工リサーチ名古屋支社「東海三県下企業倒産動向」	↑：月間倒産件数の対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス ↓：月間倒産件数の対前年同月比5%以上かつ同比の対3か月前比プラス →：上記以外
貿易	輸出	名古屋税関「管内貿易概況」／名目輸出額	↑：対前年同月比5%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
	輸入	同上／名目輸入額	同上
金融		日本銀行「都道府県別預金、現金、貸出金（国内銀行）」／貸出残高	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ同比の対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ同比の対3か月前比マイナス →：上記以外
物価	企業物価	日本銀行「企業物価指数」／国内企業物価	↑：対前年同月比1%以上プラスかつ対3か月前比プラス ↓：対前年同月比マイナスかつ対3か月前比マイナス →：上記以外
	消費者物価	総務省「消費者物価指数」／名古屋市（総合）	同上
区分	上昇 	横ばい 	下降 

(注) 1. 矢印は、対前年比、3か月前比を中心に変化の方向を表す。

2. 「倒産」については、倒産件数が上昇の場合は“↘”を、下降の場合は“↗”を表示する。